

虎ノ門で学ぶ。 90分で自身のビジネス力を知る『6 thinking 講座』

～ KIT 公開講座および大学院説明会のご案内 ～



金沢工業大学(K.I.T.)が東京・虎ノ門にて開設している社会人対象の大学院「K.I.T.虎ノ門大学院」(所在地:東京都港区愛宕1-3-4)では、ビジネスアーキテクト専攻の無料公開講座&大学院説明会を9月より全6回にわたって開催いたします。

コンサルティングファーム等でトップランナーとして活躍してきた講師陣から、一流のプロフェッショナルに求められる6つの思考について学んでいただくことで、社会人の皆様に今後の仕事へのヒントを得て頂くとともに、より本学を理解していただくことを目的としています。この機会にぜひご参加ください。

詳細 URL: http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/business/seminar_ba.htm

<概要>

◇日時:

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 【1】ビジネス“論理”思考 | ／ 9月13日(土)10:00～13:00 |
| 【2】ビジネス“発想”思考 | ／ 9月18日(木)19:30～22:00 |
| 【3】ビジネス“マーケティング”思考 | ／ 10月8日(水)19:30～22:00 |
| 【4】ビジネス“キャリア”思考 | ／ 10月18日(土)10:00～12:30 |
| 【5】ビジネス“未来”思考 | ／ 11月1日(土)10:00～12:30 |
| 【6】ビジネス“戦略”思考 | ／ 11月6日(木)19:30～22:00 |

※各回とも大学院説明会(60分)および公開講座(90～120分)となります。

◇会場:金沢工業大学 虎ノ門キャンパス <http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/map.htm>

◇対象:2年以上の企業又は官公庁における実務経験をお持ちの方

◇参加費:無料

◇定員:各回40名(要事前申込)

◇申込 URL: https://secure.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/evententry_ba.htm

※取材ご希望の方は事務局(tokyo@kanazawa-it.ac.jp)までEメールにて事前連絡ください。

■本件に関するお問い合わせ先

K.I.T.虎ノ門大学院 (金沢工業大学大学院 東京・虎ノ門キャンパス事務局)

フリーダイヤル:0120-757-242 (受付時間 10:00～22:00) E-mail: tokyo@kanazawa-it.ac.jp

住所:〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル12F

TEL:03-5777-2227 FAX:03-5777-2226

<各講座の詳細>

[1] ビジネス“論理”思考 / 9月13日(土)10:00~13:00

- ・「なぜビジネス論理思考なのか？」～日本人は論理思考が苦手？
- ・「ビジネス論理思考とは？」～情報の構造化 ほか
- ・「実際にやってみよう！」～クリティカル・リーディング ほか
- ・「道具の解説」～よく使われるフレームワーク ほか

◇講師:山田 英二(K.I.T.虎ノ門大学院 ビジネスアーキテクト専攻 教授)

新日本製鉄(株)にて財務、総務、事業開発を担当後、ポストン・コンサルティング・グループにて国内外の様々な企業の戦略、PMI、BPRなどを経験。2000年よりソロス・プライベート・ファンズ、グローブ・インターナショナル・パートナーズにおいて企業再生など付加価値創造型の投資活動に従事。



[2] ビジネス“発想”思考 / 9月18日(木)19:30~22:00

- ・「知識や学びの呪縛」～日本人は独創や発想が苦手？
- ・「考動力とは？」～動いて見つける発見力 ほか
- ・「実際にやってみよう！」～紙コップ演習 ほか
- ・「発想プロセスの留意点」～KJ法の限界 ほか

◇講師:三谷 宏治(K.I.T.虎ノ門大学院 ビジネスアーキテクト専攻 主任教授、

グロービス経営大学院 客員教授、早稲田大学ビジネススクール 客員教授)

BCG、アクセンチュアを経て現職。アクセンチュアでは戦略グループ統括エグゼクティブ・パートナーを務め、同グループの200人超への成長に貢献。06年からは「教育」領域に専念し、小・中・高校を中心に年間3000人を超える子ども・親・教員たちに授業・研修を行う。最新著の『経営戦略全史』は、ダイヤモンドHBRベスト経営書2013、ビジネス書大賞2014に選ばれた。



[3] ビジネス“マーケティング”思考 / 10月8日(水)19:30~22:00

- ・マーケティング戦略の立案プロセスはどうあるべきか？
- ・マーケティングミックスの良し悪しはどのような観点から考えるべきか？
- ・メーカーとしての地力をどのようにつけていくべきか？
- ・マーケティングの原理原則とは何か？

◇講師:関灘 茂(A.T. カーニー株式会社 パートナー)

兵庫県神戸市出身。神戸大学経営学部卒業後、A.T. カーニー株式会社に入社。INSEAD(欧州経営大学院)MAP修了。消費財・小売を中心に、メディア、サービス、不動産、自動車、製薬などの分野の20社以上のクライアント企業と共に、経営戦略、組織・プロセス改革、オペレーション改革などの100以上のプロジェクトを推進。ビジネス誌への寄稿やセミナー、大学での講演多数。



[4] ビジネス“キャリア”思考 / 10月18日(土)10:00~12:30

充実した仕事人生を送るには、仕事を通しての実績や能力が組織に高く評価されていることと、そのなかで自分自身も満足いく仕事(強みの発揮できる仕事、好きな仕事)を担えていることの双方が重要です。本講座では、ビジネスキャリアを「仕事経験およびそれに関連する啓発によって得られる能力」と定義し、そのエッセンスを学びます。

- ・いかにしてその質・量を高めていくか
- ・所属する組織にとっても価値の高いものにするか
- ・自分自身の強みを活かしたものにするか

◇講師:鳥谷 陽一

(税理士法人プライスウォーターハウスクーパース ヒューマンキャピタル マネージング
ディレクター)

東京都立大学(現「首都大学東京」)経済学部卒業後、産業能率大学にて企業内教育を中心にした人事
コンサルティングに従事、2001年からプライスウォーターハウスクーパース(PwC)にて評価、報酬、組織
開発など大型プロジェクトに従事し、現在は PwC グループ内(税理士法人)のヒューマンキャピタル部門
を統括。著書にビジネス小説「ミッション」(プレジデント社)他、講演・執筆多数。



【5】ビジネス“未来”思考 / 11月1日(土)10:00~12:30

- ・未来って何? ~フューチャーセンターから学ぶ社会変革の本質
- ・未来思考で「イノベーション」を起こす ~フューチャーセッションの設計手法を学ぶ
- ・演習:未来思考で「新しい働き方」をデザインしよう!

※すべての過程をワークショップ型で進め、楽しみながら激しく頭と身体を働かせてもらいます!

◇講師:野村 恭彦 (K.I.T.虎ノ門大学院 ビジネスアーキテクト専攻 教授、

株式会社フューチャーセッションズ 代表取締役社長、

国際大学 GLOCOM 主幹研究員)

慶應義塾大学大学院理工学研究科 開放環境科学専攻 後期博士課程修了。富士ゼロックス株式会社
では、2000年に新規ナレッジサービス事業 KDI を自ら立ち上げ、シニアマネジャーとして12年にわたり
リード。2012年6月、企業、行政、NPOを横断する社会イノベーションをけん引するため、株式会社フ
ューチャーセッションズを立ち上げる。著書「フューチャーセンターをつくろう」(プレジデント社)ほか。



【6】ビジネス“戦略”思考 / 11月6日(木)19:30~22:00

- ・「戦略とは何か?」 ~ その概念を考える
- ・「環境分析とは何か?」 ~ その使いこなしを考える
- ・「戦略の全体像とは?」 ~ その全貌を考える

◇講師:小西 賢明 (株式会社ワイズ・ストラテジック・パートナーズ 代表)

東京大学経済学部卒。マッキンゼーアンドカンパニー、アクセンチュア戦略グループなどの戦略系コン
サルティングファームを経て、2003年独立。現在に至る。多岐にわたるコンサルティング業務を行うと同
時に、講師として年間150日を越える研修を実施。3ヶ月~半年規模での自社課題研修を多く手がける。



<K.I.T.虎ノ門大学院 ビジネスアーキテクト専攻について>

K.I.T.虎ノ門大学院 ビジネスアーキテクト専攻は、変革力ある経営・事業・企画人材に必要な実践的かつ
幅広く深い知識と普遍的スキルを身につけることができる、社会人を対象とした1年制の大学院です。

最大の特長としては、ビジネスの第一線で活躍するプロフェッショナルたち約40名の教員により展開され
るリアルな少人数講義。一科目あたりの受講生は最大でも20名程度で、パッシブに話を聞くだけの授業形
式とは比較にならない参加型の講義を受けることができます。

本専攻のカリキュラムも、経営戦略やマーケティングから財務、組織マネジメントなどのビジネススキルは
当然のことながら、IT企画力や知財スキルに至るまで、現代において企業や組織の変革に挑むときに必要
な内容を網羅。基本から応用まで最短1年間で体系的かつ効率的に学ぶことが可能です。

<http://www.kanazawa-it.ac.jp/tokyo/business/>